

# 植物ゲノム・遺伝子源解析センター

## 月例セミナー

とき 平成30年6月22日(金)

16時～17時

ところ 農学部 A302 演習室

### 題目

「低温要求量の少ないモモ新品種の育成と利用」

### 講師

農学部教授 別府 賢治 博士

### 概略

日本で栽培されているモモは、芽の休眠打破に必要な低温要求量（7℃以下）が約1000時間と大きい。今後、地球温暖化の進行により、低温遭遇量の不足による発芽不良が生じることが予想されることから、低温要求量の少ない品種の育成が求められている。一方、ハウス栽培において、より早期の出荷を目指して早くから加温を開始するためには、低温要求量の少ない品種が必要となる。少低温要求性品種は、亜熱帯地域に存在するものの、果実品質に問題がある。そこで、我々は、亜熱帯の少低温要求性品種と日本の多低温要求性品種を交配し、低温要求量が少なく早生で果実品質に優れるモモを育成してきた。これまでに2品種（KU-PP1、KU-PP2）を品種登録し、近隣の研究機関や農家で試験栽培を行っている。本セミナーでは、新品種の育成過程と特性、ハウス栽培での利用について紹介する。

### 参考文献

別府賢治, 谷口紗里奈, 片岡郁雄: 低温要求量の少ないモモ品種 'KU-PP1' の少加温栽培, 香川大学農学部学術報告, 68, 5-9 (2016).

別府賢治, 岩村舞子, 片岡郁雄: 低温要求量の少ないモモ品種 'KU-PP1' の加温ハウスによる促成栽培, 香川大学農学部学術報告, 67, 37-40 (2015).

別府賢治, 家形麻里, 真鍋徹郎, 片岡郁雄: 低温要求量の少ないモモ新品種 'KU-PP1', 園芸学研究13, 別冊(2), 362 (2014).

Beppu, K., Yamamoto, S., and Kataoka, I. : Examination of time of heating in forcing culture of lower-chilling peach selection HKH×FLP3, Acta Horticulturae, 1059, 201-204 (2014).

主催：香川大学農学部 植物ゲノム・遺伝子源解析センター

(<http://www.ag.kagawa-u.ac.jp/phytogene/index.html>)